

内科 小児科 漢方
産科 婦人科
浮田医院
だより



第 46 号

発行所：内科 小児科 漢方 浮田医院

〒520-1214 滋賀県高島郡安曇川町末広3丁目28

TEL 0740-32-3751

FAX 0740-32-3795

(パソコン) <http://www.2u.biglobe.ne.jp/~ukita/>(携帯) <http://www.ukita.gr.jp/i/>

e-mail: kanpou@mui.biglobe.ne.jp

発行日：2004年1月5日(月)

発行者：浮田 徹也



漢方薬のよさ(46)

更年期障害 II



迎春
本年もよい年でありますよう心から祈りいたします。

東洋医学、特に漢方治療を得意とする当院は、近畿地方と北陸地方の患者様をたくさん診察しています。産婦人科、内科、小児科、皮膚科、老年科の領域を中心に、今後も、皆様の要望に応えたいと思います。

当院には、パソコンホームページと携帯ホームページがあります。今月、パソコンホームページをリニューアルしました。浮田医院は少しずつ変わっています。これからも時代と共に、皆様のご要望に応じて、自在に変わっていきたいと思います。

先日、チェコのピアニスト、コレット夫妻の演奏会で、スメタナ、ドボルザーク、ドビッシ、フォーレ、ラヴェルなどの組曲、舞曲

などのブラハ音楽の調べを堪能し、演奏後、ご夫妻と楽しいひと時を過ごしながら、一緒に食事をしました。

今月は更年期障害(女性、男性)についてお話しします。

更年期は、老年期を迎える準備



和歌浦の日の出(和歌山県)

期間です。腎(成長や機能などの生命力)の衰えが原因で、緒に關係)、脾(消化吸収)心(血液循環、思考力)に乱れが生じ、のぼせ、いらいら、憂鬱、生理不順などの症状が現れると、更年期障害と言います。体質、生活環境性格(思考、感情)の違いで、更年期障害の症状が異なります。これから更年期を迎える方は、肝、脾、心、腎の働きを調えるため、できるだけゆとりのある生活を心がけてください。

では、実例を挙げましょう。

四九歳女性、更年期障害、冷えのぼせ、動悸、不眠、便秘、月経前の乳房痛で来院。顔色は赤く、限が目立つ。腹は硬く、右肋骨下部に抵抗圧痛、臍の上下で動悸、臍傍に抵抗圧痛。脈は細く硬い。舌は暗紅色、薄い黄苔。そこで、加味逍遙散、四物湯、サフランを処方。二週間後より症状が軽くなり、六ヶ月後にはほぼ症状は消失。二年後の現在も継続中。

一四歳男性、慢性扁桃腺炎、小さいころから一ヶ月毎に扁桃腺が腫れ発熱を繰り返してきた。顔色は青黒、目が釣りあがって見

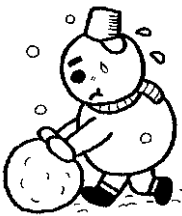




えた。腹は硬く、両肋骨下部に抵抗、下腹部は軟弱。脈は引き締まり、緊張。舌は暗紅色、乾燥。扁桃は腫大し咽が塞がる寸前。慢性鼻炎と慢性中耳炎は軽度。そこで、柴胡清肝湯、辛夷、川芎、薏苡仁を処方。一年後、四ヶ月の発熱に、二年後には、激しい発熱はなくなった。五年間服薬後廃薬。七年後の現在、体調はよい。

三六歳女性、肌あれ、顔と下肢のむくみ、腰痛、不眠を訴え来院。顔色は青白く、肌は荒れ、お腹はやや軟らかく、臍上に動悸、下腹部の膨満。脈は軟弱、遅、舌は暗淡紫色、薄い白苔、舌下静脈の怒張。朝と昼は、当归芍薬散、紅参、附子、薏苡仁、眠前に酸棗仁湯、紅参を処方。二週間後、眠れ始め、むくみもやや減少。一年後、肌あれやむくみはかなり改善。年々症状はよくなっている。今年で五年間続けたことになる。

二二歳男性、インフルエンザ、高熱、悪寒、咽頭痛、全身関節筋肉痛。顔は真っ赤、脈は力強く、速い。舌は紅色。インフルエンザ



〔院長〕

ザキツト陽性。そこで、大青竜湯、タミフルを処方。二日で解熱。三日目、出勤。

二五歳女性、妊娠二二週、インフルエンザ、高熱、悪寒、咽頭痛、全身関節筋肉痛、むかむかする。顔は真っ赤、脈は力強く、速い。舌は淡紅色。胎動は正常。インフルエンザザキツト陽性。そこで、小柴胡湯、大青竜湯、補液（ラクトリンゲル）。翌日、食事を摂れ、二日で解熱。

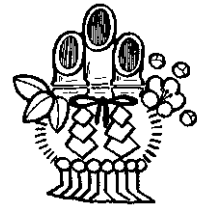
年末、在原の雪景色を楽しみました。古い民家、せゝらぎ、山々、畑や田、神社を覆い尽くす雪に圧倒されました。玄関のドアが半分ほど雪で埋まり、車はほとんど雪の下、除雪できていない道は、どこを歩けるか分からないが、恐る恐る歩いてみると、膝までズッポリ入ってしまった。一〇メートルほど歩くのがやっとでした。

次回は、腎についてです。



慢性扁桃炎

急性扁桃炎を繰り返し、咽頭不快感、咳嗽、微熱、病巣感染、掌蹼膿疱と関係があります。膿汁を常に認める場合、手術がよい事もあります。うがいをよくし、過労、心労にならないよう気をつけ、漢方薬によって改善することもあります。



肌あれ

肌の水分が減り、カサカサする方は、“肺”“脾”“肝”“腎”に問題があることが多いようです。肌の手入れ、胃腸の調子、情緒（特にのびのびした気持ち）に関係します。生活習慣、ストレス、スキンケアとともに漢方薬も大いに役立ちます。

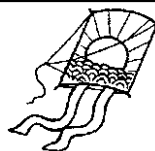


インフルエンザ

突然の高熱、咳、四肢痛等の症状で始まります。当院では、迅速診断キットを用いて診断し、抗インフルエンザウイルス薬漢方薬、点滴（脱水の治療）などを用いて治療します。また、予防としてのワクチン接種も実施しています。



当院の漢方治療



剤型

- ・エキス漢方薬：錠剤タイプの漢方薬と顆粒タイプの漢方薬があります。
- ・漢方煎じ薬：良質の生薬を組み合わせた漢方薬。40～60分煮て作ります。

当院の顆粒タイプの漢方薬は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかり蓋をして下さい。それでも固まる場合、冷蔵庫で保管して下さい。漢方薬が固まりやすい場合、当院の漢方薬専用容器(無料)をご利用下さい。

適応症

便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、痺れ、動悸、めまい、ほてり、発熱、かゆみ、排尿障害・・・などすべての症状。

・漢方薬のよく効く疾患

アトピー性皮膚炎、更年期障害、便秘、腰痛、肩こり、子宮内膜症、子宮筋腫、生理痛、冷え性、不妊症、低血圧、めまい、頭痛、下痢、動悸、過敏性大腸、慢性疲労、風邪、肥満、夏ばて、慢性肝炎、肝硬変、慢性胃炎、慢性膵炎、慢性胆嚢炎、胆石、胃十二指腸潰瘍、痛風、慢性膀胱炎、血尿、前立腺肥大、尋麻疹、接触性皮膚炎、にきび、慢性中耳炎、慢性扁桃腺炎、慢性副鼻腔炎、口内炎、口腔乾燥、虚弱児、切迫流産、妊娠中毒症、産後回復不全、乳腺炎、乳汁分泌不全、乳腺症、上下肢浮腫、膝関節症、神経痛、帯状疱疹後神経痛、下肢静脈瘤、クーラー病・・・

・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患

高血圧、高脂血症、高コレステロール血症、アレルギー性鼻炎、不眠症、自律神経失調症、うつ病、骨粗鬆症、糖尿病、慢性関節リウマチ、痔、肝硬変、喘息、腎炎、甲状腺疾患、夜尿症、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗がん剤使用後倦怠感、抗がん剤使用時副作用・・・

エキス漢方薬と漢方煎じ薬

- ・軽症 ・ 中程度の病気：漢方製剤（顆粒あるいは錠剤）を組み合わせで治療。
- ・重症の病気、エキス剤が無効：漢方煎じ薬で治療。

女性の方、男性の方、お子様、高齢の方、ご相談下さい。

問診、望診(舌診)、聞診、切診(腹診と脈診)の東洋医学的診察法(四診)や検査(超音波、血液、便、尿、陰分泌物、心電図、骨量測定・・・)などを利用して、漢方薬を決めます。

骨量測定 (4～6ヶ月ごと)

1分で測定(極少量のX線吸収を利用)。結果は、直ぐにお渡しします。骨破壊度の検査(尿)も実施しています。

処置診

処置、検査、点滴、鍼、スーパーライザーをご希望の方、**診察券**を入れ**受診者名簿**に、**氏名**を書き**処置の欄**にチェックして下さい。

皮内針

内皮針は1～2mm、針管付き鍼は3.0mm、いずれの鍼も刺す時の痛みはありません。肩こり、腰痛、膝関節痛、神経痛、筋肉痛、頭痛・・・の治療に適しています。

スーパーライザー (神経照射)

赤い温かい光(近赤外線)で血行をよくし、アトピー性皮膚炎、花粉症、ストレス、腰痛、肩こり、五十肩、膝の痛み、ムチウチ、捻挫・・・などの治療に利用しています。

アトピー軟膏

漢方薬(生薬)のみで作られた軟膏です。

- ・紫雲膏 ・ 太乙膏 ・ アガリスク ・ メシマコブ
- ・ 靈芝 ・ AHCC ・ サメ軟膏

在宅訪問診療とは

患者さんあるいはその家族の人と相談のうえ、その家族を訪問し、**計画的に診療と治療**を行います。往診と違い、**定期的に(月に2～72回)訪問診療**を行い、患者さんの健康を管理します。**在宅診療についてお気軽にご相談下さい。**

足つばマッサージ

足のつば刺激は、10分で5kmの散歩に相当し、**足の裏の疲れ**がよくとれ、糖尿病、高血圧、浮腫、神経痛、腰痛、高脂血症などに適しています。

寝たきり老人在宅総合診療とは

病院及びその他あらゆる老人用施設に入所できず、家庭で家族が介護している人の家に行き、**居宅療養のお手伝いをする制度**です。**費用は1割の負担**になります。**介護保険に制約されません。**

健康保険証の確認

保険証は毎月確認することになっています。保険が使えなくなると困りますから、**保険証の変更**は、早急に受付に連絡して下さい。

外 来 診 療 時 間

	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～正午 (月～土)	○	妊婦外来	○	○	妊婦外来	○	—
午後5:30～午後7:30 (月、水、金)	○	—	○	—	○	—	—

- ◆漢方外来(月～土)：内科、小児科、皮膚科、産婦人科、整形外科、耳鼻科、眼科・・・など全科
 ◆更年期外来(月・夕方)：更年期の方、思春期の方(女性、男性、どなたでもお越し下さい)
 ◆不妊外来(水・夕方)：赤ちゃんの欲しい方(ご夫婦でもお越しになれます)
 ◆妊婦外来(火、金)：妊婦健診、妊娠中の方(火)午前11:00～正午は赤ちゃん健診、産後健診
 ◆助産師相談(第2、3金)：妊婦相談、乳房相談、育児相談 午前8:40～午後12:30(日程は掲示)

前期と中期-母親教室

日時：1月9日、2月27日、3月10日(金)
 対象：妊娠7ヶ月までの方(定員5名)(無料)

場所：当院1階 申込方法：申込ノートでご予約して下さい。

後期-母親教室

日時：1月7日、2月18日、25日、3月3日、17日(休)
 対象：妊娠8～10ヶ月の方(定員5名)(無料)

お気軽にご参加下さい。ご主人の参加も歓迎します。

母親教室ティータイム

和菓子をご用意しました。“口福まんじゅう”はイチゴあんど抹茶大納言あんを包んであります。

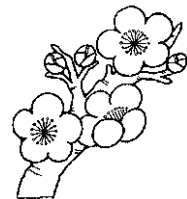
“絵馬クッキー”に願いを書いて、安産を祈念しませんか。
 かわいい和菓子にほっとされることでしょう。肩肘を張らず、自然体で過ごす時間を大切に下さい。
 どんなお子様を授かるか楽しみですね。

和菓子



漢 方 入 浴 剤

身体を温め、首や肩こり、神経痛、腰痛、冷え性、リウマチ、疲労回復、湿疹、あせも、にきび、アトピー性皮膚炎に効果があります。
 また、ソフトな香りがもたらす癒し感という精神的効用もあります。
 毎日、漢方入浴剤のお湯でリラックスできれば、知らず知らずの内に長年の悩みも少しずつなくなってしまうでしょう。



当院で分娩を予定しておられる方

妊娠34週までに受付で予約して下さい。
 ご予約には分娩予約カードと予約金5万円が必要です。
 予約された方に、母と子のびきをお渡します。

助産師相談

妊娠中、分娩、母乳、育児の相談と健診の説明。
 お一人およそ15～20分に対応します(無料)。
 日時：第2、3金曜日 午前8:40～午後12:30

携帯ホームページ (<http://www.ukita.gr.jp/i/>)

助けて ウッキー！ DRウッキーの悩み相談
 婦人科 産科 漢方 友達に教える 外来診療の
 ご案内などを掲載 (i-mode対応)

赤ちゃん健診

1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月健診をしています。
 日時：毎週火曜日 午前11:00～正午(有料)

パソコンホームページ リニューアル

(<http://www2u.biglobe.ne.jp/~ukita/>)

漢方のページ(症例多数、漢方について)
 産婦人科のページ 当院の案内、当院への交通
 周辺の観光地など掲載。
 入院時の朝食、昼食、おやつ、夕食、ディナー食
 母親教室、助産師相談、食事指導の風景などの
 写真を満載。老人医療の項目を増設。

入院食(手作り)

心のこもった手作り料理です。素材、味付け、
 メニュー・・・など、絶えず工夫し研究しています。

従業員募集

看護師、助産師(常勤、パート)。面接：随時、
 各種保険加入、賞与：年2回、交通費支給。